

# 環境負荷低減事業活動の概要

事業者：株式会社農業総合研究所



## 計画概要

- ・新たな流通事業※において、AIを用いた需要予測と、その予測に基づいた供給側のマッチングを進めることで、取引品目の需給バランスの向上を図り、流通過程における食品ロスを削減する。
- ・一部商品の流通・販売時の包装資材の削減（使用しない・簡易包装・環境配慮素材の使用）を図る。

## 目標

- ・AI需要予測を活用し、流通段階での食品ロス率を2030年までに現状から5.4%削減する。
- ・2030年までに、年間2,000tの商品を、包装資材の使用量を削減した荷姿で流通する。

## 計画のイメージ



AI需要予測・需給マッチング



包装資材の削減（バラ売り等）

## 食料システムへの寄与

需給バランスの適正化を図ることにより、食品ロスや産地での廃棄の削減に寄与すると同時に、梱包資材の省資源化を通じた環境負荷低減を図り、持続的な食品の供給体制の確立に貢献する。



流通段階での  
食品ロス削減



環境負荷の低減



梱包資材を使用しない・  
簡易包装・環境配慮素材

※レベニューシェア型農産物流通事業：AIなどを用いた需要予測に基づき、生産者側と小売側のマッチングを実施。それに基づき、売上収益を生産者を含めたサプライチェーン関係者間で、あらかじめ定めた料率に基づいて分配する仕組み。

(2025年12月17日認定)